

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2012-67152(P2012-67152A)  
 【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-014  
 【出願番号】特願2010-210794(P2010-210794)  
 【国際特許分類】

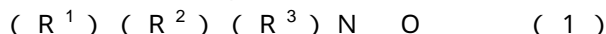
C 1 1 D 1/75 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/43 (2006.01)  
 C 0 9 D 9/00 (2006.01)  
 C 0 9 D 11/00 (2006.01)  
 B 0 8 B 3/08 (2006.01)  
 B 4 1 J 2/01 (2006.01)  
 C 1 1 D 3/04 (2006.01)  
 C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 1 D 1/75  
 C 1 1 D 3/43  
 C 0 9 D 9/00  
 C 0 9 D 11/00  
 B 0 8 B 3/08 Z  
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y  
 C 1 1 D 3/04  
 C 1 1 D 17/08

【手続補正書】  
 【提出日】平成25年6月4日(2013.6.4)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

硬質表面を洗浄温度45～85 の水系洗浄剤で洗浄する硬質表面の洗浄方法であって、該水系洗浄剤が、(a)アルカリ剤、(b)下記一般式(1)で表されるアルキルアミンオキシド、及び(c)20 における溶解度パラメーター(SP値)が8～12である有機溶剤を含有し、pHが11～14である、硬質表面の洗浄方法。



(式中、 $R^1$ 及び $R^2$ は、それぞれ独立に炭素数1～3のアルキル基又はアルケニル基を示し、 $R^3$ は炭素数が8～16のアルキル基又はアルケニル基を示す。)

【請求項2】

硬質表面が、ポリマーが接触する金属部材の表面である、請求項1に記載の硬質表面の洗浄方法。

【請求項3】

ポリマーが接触する金属部材の表面が、ポリマーを含有する成分を水系媒体中で粒子化する工程に用いられる製造ラインを構成する部材の表面である、請求項2に記載の硬質表面の洗浄方法。

**【請求項 4】**

硬質表面を有する水分散体製造装置を用いて、少なくとも該硬質表面を、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の洗浄方法で洗浄した後、ポリマーを含有する原料成分を水系媒体中で粒子化して水分散体を製造する、水分散体の製造方法。

**【請求項 5】**

請求項 4 に記載の製造方法で得られる水分散体を含むインクジェット記録用水系インク。